

人権標語 最優秀賞
あいさつは、こころとこころ つながるよ 小学校2年生 國保 いろは
あいさつは心とこころのつなぎ合い 小学校3年生 堀 雄登
なくしたい！口だけやめよう行動に！ 小学校5年生 高野 夢叶
その一言 傷つく人が いるんだよ 小学校6年生 鈴木 心々
置き換えよう自分と相手の立ち位置を 中学校3年生 斎藤 陽向
僕のこと あなたの価値で 決めないで 高校2年生 宮本 響
マスクしても 笑顔忘れず やさしい声 高校3年生 森 琉樹葵

人権標語メッセージ最優秀賞
こまっているのに、だいじょうぶという。ひとりであそんでいるのに、いっしょにあそぼうと こえをかける。けんかしたとき、じぶんから ごめんねという。あいても うれしくなる。じぶんも うれしくなる。 小学校1年生 樋口 雅弥
あいさつを心をこめて言いたいです。いつも おはようございますや さようならは つい てきとうに言うてしまうけど、心をこめて言うと言われた人もうれしくなって話も聞いてもらえて毎日がうれしくすごせるなと思いました。 小学校3年生 加藤 妃奈乃
人は一言で相手をきずつけてしまう事がある。一言で元気をもらえる事がある。もし、相手をきずつけてしまったら、その相手はどう思う？心のきずは なおらない。自分はしていないかな？相手の気持ちを考えて発言しよう。 小学校5年生 水谷 紗菜
言葉はとてもすばらしいもの。人を笑顔にできるもの。しかし使い方を間違えると、とても鋭い刃物になる。だから気を付けよう。言葉の傷は一生心に残る。言葉を正しく使い笑顔の言葉を目指そう。 中学校1年生 片山 賢

人権メッセージ 優秀賞
友達がいっしょに笑ってないではげましてくれるから、今のぼくがいるよ。今度はぼくが君のいたみを分かって助ける番だ。 小学校6年生 橋場 晃
私は、一言で人を苦しめる事を知った。相手が言ったその事で人の心を苦しめる。「相手は、気づいてはいないけれど言われた人はずっと残っている」という言葉で気づかされた。私は一言一言に責任を持つことが大事だと思う。 中学校1年生 山川 杏
私たちはもっと自分の言葉や行動に責任を持たないといけない。自分がなんとなく言った言葉が誰かを傷つけたり、自分の行動に誰か傷ついたりする。だから私はもっと自分の言動に責任をもって後悔しないようにしたい。 中学校2年生 浅川 もな
私には、とても大切な友達があります。その友達といるととても楽しいです。また、同じ部活と一緒に頑張れます。でも、一番良いと思うのは、本音を言い合えることです。その分衝突することもありますが大変な宝物です。 中学校3年生 市川 董花
今もどこかでは差別が起こっている。だが、本当にどこかの話なのか。男女の考え方も国と分けた考え方もどこかではなくいつも自分の隣にあることだ。一番怖いことは差別する人ではない。それを知ろうとしない自分だ。 中学校3年生 新田 野乃
相談したいと思うけど相談する人がいない。自分からは言えないことだってある。気づいてあげてほしい。自分が言われていやな事は相手にも言わない。雲一つ無い青空を見上げてみて。よく考えて。きっと何かが変わるはず。 高校1年生 安藤 美咲
1人で抱えこまないで信頼できる人は絶対見つかるよ。時間はかかるけど、そばにいてくれる人は必ずそばにいる。たった1人だけでも素を出せる人には無理に笑わず、泣いてる姿を見せてもいいからね。 高校1年生 森 優羽菜
この世では、見た目で判断する人がたくさんいます。人は見た目で判断されてはいけなと思います。肌の色が性別、服装や髪型で1人1人がもっている優しさは変わらないと思います。見た目は違えどみんな同じ人間である。 高校3年生 大城 れんか
あいさつをすれば様々な人とのコミュニケーションが生まれたくさんの出会いがある。相手に自分の感情や思いを伝えるのにあいさつは大切なコミュニケーションツールだと思います。 高校3年生 位田 愛翔
「いつもありがとう。明日は仕事ですか？仕事だったら頑張って下さい。仕事じゃなかったら頑張らなくてもいいよ」一年生の孫からの手紙。心がほっこり温かくなり、人を思いやる心を大切にする事を教えてもらいました。 一般の部 山口 真奈美

人権標語 優秀賞
うれしかった。ぎゅっとだきしめられて 小学校1年生 西脇 菜稀
それぞれがえらんだものでいいんだよ 小学校2年生 村川 雅之佑
いろえらび そのひとじしんすきないろ 小学校2年生 堀 桃歌
コロナより、一番こわいの言葉の矢 小学校5年生 福尾 葉
見て見ぬふり これもりっぱな いじめだよ 中学校1年生 片山 賢
その一歩 誰かを救う あなたの言葉 中学校2年生 志田 みなみ
その言葉 相手に向けて言う前に 一度自分に向けてみよう 中学校3年生 山川 彩珠
その言動 自分も相手も 笑顔になれますか 高校2年生 川崎 亜佳音
言葉はね 人とをつなぐ架け橋だ 高校3年生 尾崎 虎太郎
助け合おう 1人の涙 見捨てない 高校3年生 山本 凌大
あきらめない 差別がなくなる 日までは 一般の部 齋藤 護

人権メッセージ 優秀賞
わたしは、いじめがなくなってほしいです。そのために、いじめをしている人がいたら、「だめだよ」と、ちゅういしたいです。いじめをされた人には、「どうしたの」「だいじょうぶ」と、こえをかけてあげたいです。 小学校1年生 水谷 優那
ぼくは、もしいじめなどをされたら、その子にやさしく「自分がされたらどういう気持ちになる？」と言っていじめをどんどんなくしていきたいです。みんなが仲よく、そして元気な平和な学校、保々地区にしていきたいです。 小学校4年生 後藤 琉惺
人と人のすばらしい ちがいを利用して差別をする、私たちに「同じ」というのは ないのに、ぼう力できずつけたら いつか治るけど、その悲しい心のキズは、治らない。私たちの すばらしい ちがいで笑顔を幸せを作っていこう。 小学校5年生 川上 咲優
だれかになんとなく言った言葉で、言われた人はどう思うか分かりますか。悪気が無かったとしても、相手を苦しめてしまうかもしれません。自分が今言おうとしている言葉がどういうことなのかを一度考えてみましょう。 小学校6年生 井出 翔稀
ねえ、さっきの言葉だれも傷つけていない？もしその言葉で傷ついた人がいたらどうするの？そのスマイルリボンで自分の行動・自分の言葉を見つめ直し、かげで泣いている人に声をかけよう！！ 小学校6年生 新海 美空